

教職員の皆様へ

令和8年度「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の活用について

先生方へのお願い

この「電子メディアとの付き合い方学習ノート」(以下「ノート」という。)は、電子メディア(スマートフォン、パソコン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ゲーム機などの機器やコンテンツ)との上手な付き合い方を学校や家庭で学習できるようにつくりました。このノートを利用して、児童・生徒自身が電子メディアの使い方を振り返ったり、使い方について家の人と話し合っ

また、家族で話し合う際の参考にしていただくため、ノートA～Cには「保護者の皆様へ」のページもあります。

下記の活用例を参考にいただき、学級活動、ホームルーム活動のほか、保護者への啓発など幅広く御活用ください。なお、ノートのデータ版(PDF ファイル)は鳥取県教育委員会事務局社会教育課のホームページからダウンロードすることができます。必要に応じて繰り返しお使いください。

なお、ノートに対する御意見があれば、今後のノート作成に係る改善の参考にさせていただきますので、担当者までご連絡ください。

ホームページはこちら
の二次元コードから



【ノートの種類と対象学年】

学習ノートA：小学校1～3年生

学習ノートB：小学校4～6年生

学習ノートC：中学生

学習ノートD：高校生

活用例

※活用例ですので、それぞれの学校・学級の実態に合わせて有効に御活用ください。

学校で…

学級活動・道徳・総合的な学習の時間等で「情報活用能力」の育成のための学習活動で活用

- ・情報があることを知り適切に扱おうとする態度
- ・個人情報や著作権などの配慮が必要なことを理解する
- ・電子メールやSNS等の特色を理解し、適切に利用しようとする態度
- ・誤認性や危険性を理解した上で適切に利用しようとする態度
- ・多角的に検討しようとする態度

家庭学習の課題として記入

ショートホームルーム(朝の会、帰りの会など)で記入

家庭で…

電子メディアとの付き合い方やルールを家庭で話し合い、話し合ったことを記入

学校で確認

家庭への啓発

家庭(学校)での話し合いの様子を

- ・学年・学級通信で紹介
 - ・参観日後の学年・学級懇談で活用
- していただくと、なお効果が期待できます。

裏面に続く

具体的な活用の例 ～ 保護者を巻き込んだ活用事例 ～

人権参観日など保護者の参観のもと、ノートを活用して授業を行い、保護者の方にもノートを紹介して啓発を行う。

授業後に PTA の研修会を行い、電子メディアの使い方などに関する研修を行う。

帰宅後、各家庭で保護者と児童生徒がお互いに今日学習した内容を、ノート(児童生徒が持ち帰ったもの)を使いながら振り返りを行う。

後日、学級だより(学校だより)等で、学習のねらい、様子等を伝える

このような形で、保護者を巻き込んで活用いただくと、児童生徒への効果も高まると考えられます。

学習ノートに関するアンケートについて

今回、ノートの中に、児童生徒を対象にノートの内容についてのアンケートの二次元コードをつけています。このアンケートの回答結果を参考に、来年度のノートの内容を検討していくこととしています。回答の声かけをよろしくお願いします。

また、児童生徒のアンケートの結果を確認したいという学校がありましたら、下記担当までご連絡ください。

【担当】

〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地

鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会 事務局

鳥取県教育委員会事務局 社会教育課

指導主事 金田良平

電話:0857-26-7943 FAX:0857-26-8175

電子メール:kanedar@pref.tottori.lg.jp